『建設DX普及キャラバン』の実施状況と「受注者アンケート」のとりまとめ結果

資料2

山形県建設DX推進戦略（加速化プラン） ※令和5年12月策定

【目標指標】ICT活用工事を中心としたデジタル技術を活用した工事実施件数

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
山形県建設DX推進戦略	短期重点期間（R6～R8）				
目標指標	**20%**	**50%**	**70%**		
実績値	**27%**	**暫定値42%**			

目標達成に向けては、
① 現場の現状や課題の的確な把握
② 工事を担当する監督職員の意識改革
が急務

『建設DX普及キャラバン』（対象：県土整備部所管の6/15時点で稼働している全工事）

6月
監督職員
①「現場アンケート」の実施
現場代理人（監理技術者等）から聞き取り



受注業者

アンケートの際（チラシの配布）
※デジタル技術の事例の提供
※必要に応じて、「やまがたICT支援隊」をPR

7～8月
アンケートの結果を
②監督職員（全員）ヒアリング



監督職員　本庁職員

・手持ち工事の7割以上で、デジタル技術を活用できないかな。
・この現場でデジタル技術を使えない理由はどうでしたか？





令和８年度ヒアリング実績：監督職員１２２名、工事２９９件

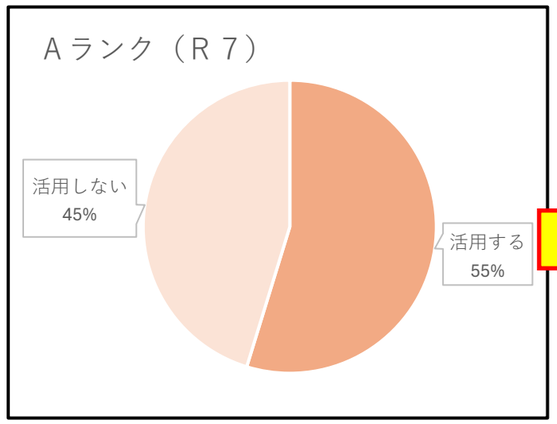
「現場アンケート」 集計結果

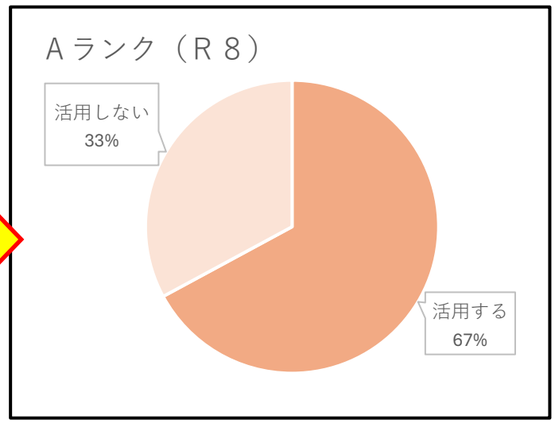
【 ICT活用工事等の実施率 】

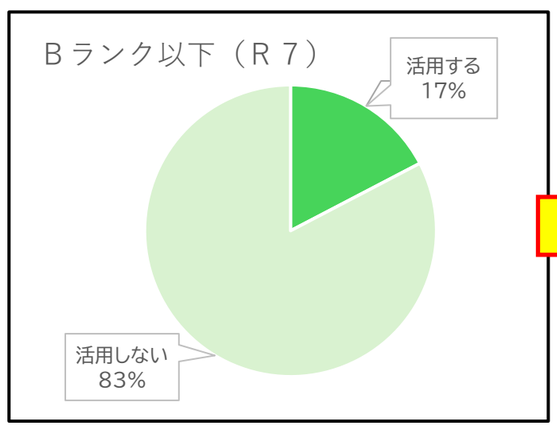
【企業単位】

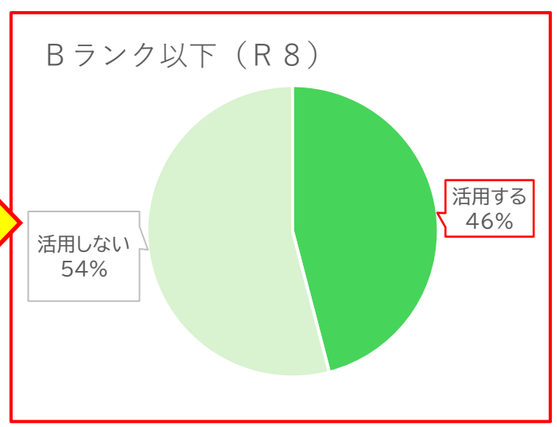
区分	アンケートA	アンケートB	計	割合	実施率	R7実施率
Aランク	151	74	225	75%	67% ⇐	55%
Bランク以下	34	40	74	25%	46% ⇐	17%
計	185	114	299		62% ⇐	43%

「Bランク以下」の実施率向上が特に顕著である。









ＩＣＴ活用工事等を活用する ⇓

アンケートA

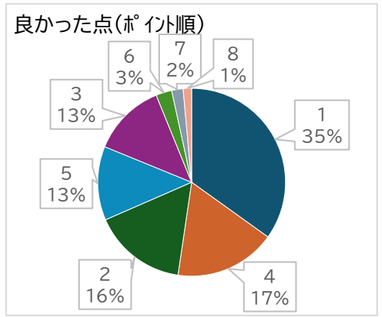
集計結果

【 企業別　Aランクの集計 】　　対象工事数 ： 151工事

問3　ICT活用工事 又は デジタル技術を活用して良かった点は何ですか
（成果が高い順に選択 ： 上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	675	1. 現場(施工管理)の省人化や効率化につながった。	141	93%	1	506
2	337	4. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながった。	108	72%	3	239
3	312	2. 工期(労働時間)の短縮につながった。	88	58%	2	254
4	246	5. 技術者や作業員等のコミュニケーションの改善やモチベーション向上につながった。	106	70%	4	202
5	245	3. 現場の利益が上がった(コスト縮減につながった)。	92	61%	5	164
6	53	6．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながった。	34	23%	6	52
7	38	7．特に成果や効果はなかった。	20	13%	8	48
8	28	8．その他（自由意見）	10	7%	7	23

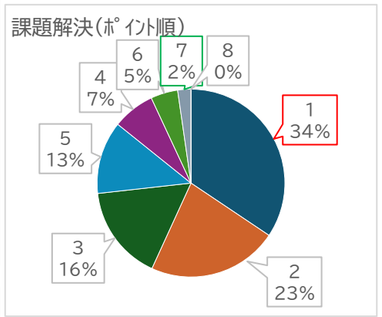


【その他（自由意見）】
・路肩や歩道から測量ができるので危険リスクが減少した
・点群データにより、横断測量・縦断測量が思いどおりにできる

問4　更なるICT活用工事やデジタル技術の活用を進めるためには、何が必要ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位3位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：３点、２位：２点、３位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	302	1. ICT活用工事やデジタル技術の導入経費(取組む費用)に対する金銭的な支援	122	81%	1	244
2	197	2. ICT活用工事やデジタル技術が活用できる技術者の確保などの人的支援	92	61%	2	156
3	144	3. ICT活用工事やデジタル技術に精通した者(支援隊等)からの助言等のサポート支援	73	48%	3	92
4	110	5. 総合評価や工事成績評定での加点等のインセンティヴの強化	64	42%	4	76
5	64	4. ICT活用工事やデジタル技術に関する研修会の充実	42	28%	5	38
6	41	6．発注者との円滑な協議（監督職員のデジタル技術への意識強化等）	25	17%	6	28
7	20	7．企業経営者の意識改革	16	11%	7	21
8	0	8．その他（自由意見）	0	0%	8	15



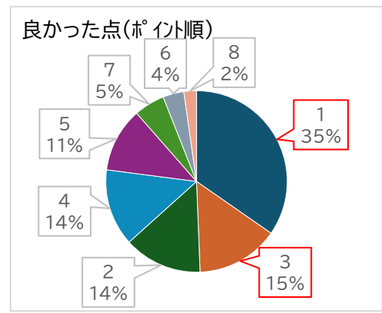
【その他（自由意見）】

【 企業別　Bランク以下の集計 】　対象工事数 ： 34工事

問3　ICT活用工事 又は デジタル技術を活用して良かった点は何ですか
（成果が高い順に選択 ： 上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	139	1. 現場(施工管理)の省人化や効率化につながった。	29	85%	1	56
2	59	3. 現場の利益が上がった(コスト縮減につながった)。	21	62%	6	13
3	56	2. 工期(労働時間)の短縮につながった。	15	44%	3	33
4	55	4. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながった。	17	50%	2	44
5	46	5. 技術者や作業員等のコミュニケーションの改善やモチベーション向上につながった。	21	62%	4	27
6	22	7．特に成果や効果はなかった。	8	24%	5	14
7	15	6．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながった。	8	24%	8	6
8	9	8．その他（自由意見）	3	9%	7	10

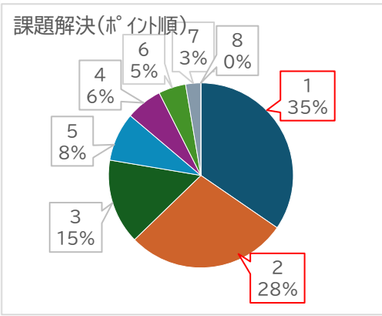


【その他（自由意見）】
・立会等の時間調整がしやすかった

問4　更なるICT活用工事やデジタル技術の活用を進めるためには、何が必要ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位3位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：３点、２位：２点、３位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	65	1. ICT活用工事やデジタル技術の導入経費(取組む費用)に対する金銭的な支援	24	71%	1	33
2	53	2. ICT活用工事やデジタル技術が活用できる技術者の確保などの人的支援	24	71%	2	32
3	28	3. ICT活用工事やデジタル技術に精通した者(支援隊等)からの助言等のサポート支援	21	62%	3	16
4	16	5. 総合評価や工事成績評定での加点等のインセンティヴの強化	9	26%	6	5
5	12	4. ICT活用工事やデジタル技術に関する研修会の充実	9	26%	5	6
5	9	6．発注者との円滑な協議（監督職員のデジタル技術への意識強化等）	3	9%	7	2
7	5	7．企業経営者の意識改革	3	9%	4	7
8	0	8．その他（自由意見）	0	0%	8	1



【その他（自由意見）】

ＩＣＴ活用工事等を活用しない ⇓ アンケートＢ 集計結果

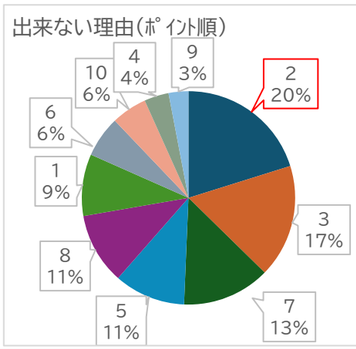
【 企業別　Aランクの集計 】　対象工事数 ： 74工事

問3　ICT活用工事 又は デジタル技術を活用できない理由は何ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	168	2. ICT活用工事やデジタル技術を使える人材がいないため(スキル不足等)	47	64%	3	189
2	143	3. ICT活用工事やデジタル技術を活用できない現場環境(作業)のため	35	47%	1	289
3	111	7. 費用対効果が不明なため	38	51%	2	210
4	90	5. 現場でのデータ更新が多く面倒であるため	32	43%	7	73
4	90	8. 従来のやり方が一番早いと思っているため	31	42%	5	154
6	78	1．ＩＣＴ活用工事やデジタル技術の導入経費（取組む費用）が確保できないため	26	35%	4	154
7	52	6．ＩＣＴやデジタル技術の使い方を覚えるのが面倒であるため	26	35%	8	61
8	45	10．その他（自由意見）	13	18%	6	82
9	31	4．デジタル技術やシステム等のサポートをどこにお願いすれば（選べば）良いか分からない	11	15%	9	36
10	25	9．会社の方針であるため	8	11%	10	23

出来ない理由(ﾎﾟｲﾝﾄ順)



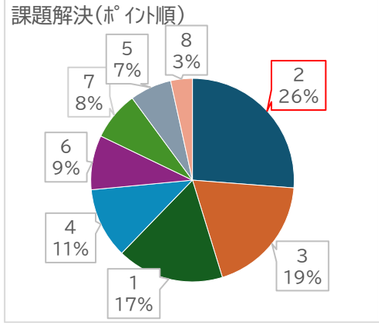
【その他（自由意見）】
- 通信環境が悪く繋がらない
- 現場が山間部であり通信環境が悪いため
- 施工延長が短いためICTシステムを活用する限りではなし
- 使い方を覚える時間の確保が難しい
- 準備期間が足りない
- 複雑な現場環境であるため
- 遠隔臨場のほうが時間がかかる時がある
- 利用に当たり計画書等の書類作成が面倒であるため
- 機器更新、整備が主な工事のため、ICT・デジタル技術を必要としないため
- ICT修繕工したとしても、表層完了後は従来の管理をしないといけないため、従来どおりでいいと思った

問4　問3の理由を改善又は解決するためには、どのようなことが必要ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位3位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：３点、２位：２点、３位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	91	2. ICT活用工事やデジタル技術が活用できる技術者の確保などの人的支援	38	51%	2	150
2	66	3. ICT活用工事や、デジタル技術に精通した者(支援隊等)からの助言等のサポート支援	32	43%	3	84
3	59	1. ICT活用工事やデジタル技術の導入経費(取組む費用)に対する金銭的な支援	27	36%	1	195
4	39	4. ICT活用工事や、デジタル技術に関する研修会の充実	24	32%	4	46
5	30	6. 発注者との円滑な協議(監督職員のデジタル技術への意識強化等)	18	24%	6	35
6	27	7．企業経営者の意識改革	13	18%	7	33
7	23	5．総合評価や工事成績評定での加点等のインセンティヴの強化	13	18%	5	41
8	12	8．その他（自由意見）	4	5%	8	18

課題解決(ﾎﾟｲﾝﾄ順)



【その他（自由意見）】
- 橋梁補修に特化したICT技術の開発
- 発注時設計計画から３次元データで作成して発注する
- 管理者の負担・手間を大幅に削減する
- ICT活用工種が無い

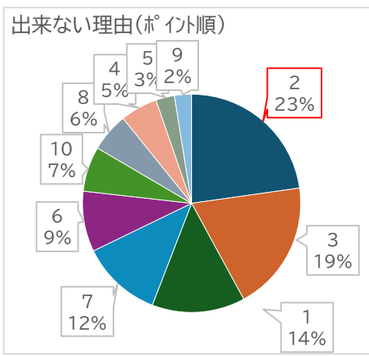
【 企業別　Bランク以下の集計 】　対象工事数 ： 40工事

問3　ICT活用工事 又は デジタル技術を活用できない理由は何ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	99	2. ICT活用工事やデジタル技術を使える人材がいないため(スキル不足等)	25	63%	1	220
2	84	3. ICT活用工事やデジタル技術を活用できない現場環境(作業)のため	20	50%	2	173
3	60	1. ICT活用工事やデジタル技術の導入経費(取組む費用)が確保できないため	19	48%	3	151
4	52	7. 費用対効果が不明なため	19	48%	4	120
5	39	6. ICTやデジタル技術の使い方を覚えるのが面倒であるため	14	35%	8	53
6	29	10．その他（自由意見）	7	18%	6	78
7	25	8．従来のやり方が一番早いと思っているため	8	20%	5	82
8	24	4．デジタル技術やシステム等のサポートをどこにお願いすれば（選べば）良いか分からない	8	20%	7	71
9	12	5．現場でのデータ更新が多く面倒であるため	9	23%	9	45
10	11	9．会社の方針であるため	3	8%	10	22

出来ない理由(ﾎﾟｲﾝﾄ順)



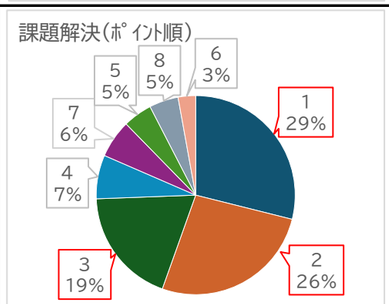
【その他（自由意見）】
- 小規模のため時間対効果が薄い
- 全面活用は費用や使用方法の取得を考えるとハードルが高い
- ICTを活用する工事ではないと判断したため
- 後継者不在で近年廃業予定のため
- 遠隔臨場以外は、本工事で使用できる技術がなさそう

問4　問3の理由を改善又は解決するためには、どのようなことが必要ですか
（優先順位の高い順に選択 ： 上位3位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：３点、２位：２点、３位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率	R7順位	R7ﾎﾟｲﾝﾄ
1	61	1. ICT活用工事やデジタル技術の導入経費(取組む費用)に対する金銭的な支援	27	68%	1	124
2	56	2. ICT活用工事やデジタル技術が活用できる技術者の確保などの人的支援	24	60%	2	122
3	40	3. ICT活用工事や、デジタル技術に精通した者(支援隊等)からの助言等のサポート支援	22	55%	3	83
4	15	4. ICT活用工事や、デジタル技術に関する研修会の充実	9	23%	4	38
5	13	7. 企業経営者の意識改革	6	15%	5	31
6	10	5．総合評価や工事成績評定での加点等のインセンティヴの強化	5	13%	6	20
6	10	8．その他（自由意見）	6	15%	7	17
8	6	6．発注者との円滑な協議（監督職員のデジタル技術への意識強化等）	3	8%	8	10

課題解決(ﾎﾟｲﾝﾄ順)



【その他（自由意見）】
- ICT活用工事やデジタル技術を使える人材がいない
- 今後、工事発注見込みがあれば導入検討したい

アンケートC

集計結果

ICT活用工事を実施したことがある（今回の工事以前に）⇓

【 技術者別　Aランクの集計 】　対象技術者数 ： 129人

問2　ICT活用工事を実施(外注を含む)したきっかけは何ですか （当てはまるものから:上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**420**	**3. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながるため**	**112**	**87%**
2	**356**	**2. 受注した工事が、ICT活用工事の『受注者希望型』だったので、チャレンジした**	**82**	**64%**
3	**322**	**4. 会社の方針であるため （経営者や上司等からの指示等を含む）**	**96**	**74%**
4	**171**	**1. 受注した工事が、ICT活用工事の『発注者指定型』だったため**	**38**	**29%**
5	**154**	**5. 人材(若手人材等)の確保につながるため(期待できるため)**	**64**	**50%**
6	94	7．山形県建設ＤＸ推進戦略が策定され、県の方針（推進体制）が示されたから	48	37%
7	67	6．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながるため	37	29%
8	44	9．その他（理由：	11	9%
9	32	8．特にきっかけはない	16	12%

【その他（自由意見）】

- 個人として興味があったため
- 現場に技術者が一人しかいなく使用しないと現場が成り立たない
- 請負金額も低い工事だったため、赤字額も最小限に収まると判断して
- 作業効率がUPするため
- 測量作業の省力化につながるため
- 広範囲の盛土工事でICT活用により作業効率がUP、施工管理・出来形管理が楽
- 自動追尾型ＴＳが便利であるため
- 時代のながれ
- 工期短縮と人出不足の解消につながるため
- 現場環境に対応が必要

問4　今後もまた、ICT活用工事を実施したいと思う理由は何ですか（優先順位の高い順に:上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**447**	**1. 現場の生産性向上につながった**	**100**	**88%**
2	**328**	**2. ICT活用により時間が確保でき、働き方改革につながった**	**88**	**77%**
3	**280**	**4. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながった**	**86**	**75%**
4	**157**	**8. 会社の方針であるため （経営者や上司等からの指示等を含む）**	**59**	**52%**
5	**140**	**3. 現場の利益が上がった(コスト縮減につながった)**	**50**	**44%**
6	111	5．現場内のコミュニケーションの改善やモチベーション向上につながった	52	46%
7	63	6．人材（若手人材等）の確保に繋がった	33	29%
8	63	7．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながった	11	10%
9	16	10．その他（理由：	5	4%
10	6	9．特に成果や効果はなかった。	4	4%

問5　今後、ICT活用工事を実施したくないと思う理由は何ですか（優先順位の高い順に:上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**34**	**1.（経費がかかる割りには）生産性向上につながらない**	**8**	**89%**
2	**31**	**2. ICT活用工事への対応に時間がかかる （慣れるまでに時間がかかりすぎる）**	**8**	**89%**
3	**21**	**7. 従来のやり方が一番早いと思っているため**	**7**	**78%**
4	**20**	**4. 現場でのデータ更新が多く面倒であるため**	**9**	**100%**
5	**13**	**6. 費用対効果が不明なため**	**5**	**56%**
6	8	5．ＩＣＴ機器やデジタル技術の使い方を覚えるのが面倒であるため	4	44%
7	6	8．会社の方針であるため　（経営者や上司等からの指示等を含む）	3	33%
8	6	3．ＩＣＴ機器やシステム等のサポートをどこにお願いすれば（選べば）良いか分か	1	11%
9	0	9．その他（理由：	0	0%

【 技術者別　Bランク以下の集計 】　対象技術者数 ： 29人

問2　ICT活用工事を実施(外注を含む)したきっかけは何ですか （当てはまるものから:上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**76**	**4. 会社の方針であるため （経営者や上司等からの指示等を含む）**	**20**	**69%**
2	**66**	**3. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながるため**	**19**	**66%**
3	**38**	**2. 受注した工事が、ICT活用工事の『受注者希望型』だったので、チャレンジした**	**10**	**34%**
4	**37**	**5. 人材(若手人材等)の確保につながるため(期待できるため)**	**12**	**41%**
5	**34**	**1. 受注した工事が、ICT活用工事の『発注者指定型』だったため**	**8**	**28%**
6	27	7．山形県建設ＤＸ推進戦略が策定され、県の方針（推進体制）が示されたから	11	38%
7	17	8．特にきっかけはない	5	17%
8	16	6．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながるため	7	24%
9	15	9．その他（理由：	3	10%

【その他（自由意見）】

- デジタル小黒板が使えるようになったから
- 測量業務の効率化及び人件費の削減になるから
- 施工途中、発注者からの依頼で使用した
- 担当工事がBIM/CIM活用工事（国交省）だった
- 既設建屋の正確な寸法を得るため

問4　今後もまた、ICT活用工事を実施したいと思う理由は何ですか（優先順位の高い順に:上位5位まで）

【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**99**	**1. 現場の生産性向上につながった**	**23**	**88%**
2	**87**	**2. ICT活用により時間が確保でき、働き方改革につながった**	**21**	**81%**
3	**47**	**4. 会社や技術者の評価(総合評価や工事成績評定等)につながった**	**15**	**58%**
4	**31**	**3. 現場の利益が上がった(コスト縮減につながった)**	**9**	**35%**
5	**20**	**5. 現場内のコミュニケーションの改善やモチベーション向上につながった**	**10**	**38%**
6	18	8．会社の方針であるため　（経営者や上司等からの指示等を含む）	8	31%
7	11	6．人材（若手人材等）の確保に繋がった	6	23%
8	5	10．その他（理由：	1	4%
9	4	7．（SNS等での情報発信などによる）会社の宣伝やＰＲにつながった	1	4%
9	4	9．特に成果や効果はなかった。	2	8%

問5　今後、ICT活用工事を実施したくないと思う理由は何ですか（優先順位の高い順に:上位5位まで）

該当なし

集計結果

アンケートD

ICT活用工事を実施したことがない（今回の工事以前に）

【 技術者別　Aランクの集計 】　　対象技術者数 ： 96人

問2　ICT活用工事を実施できなかった理由は何ですか（当てはまるものから：上位5位まで）

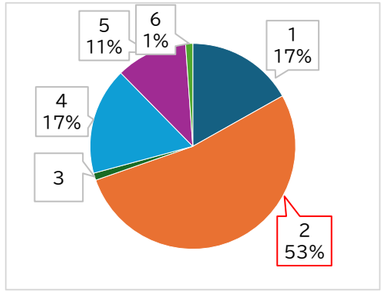
【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**279**	**1. 受注した工事が、ICT活用工事を活用できない現場環境（作業）のため**	**65**	**73%**
2	**245**	**3. ICT活用工事を使える人材がいないため（スキル不足等）**	**64**	**72%**
3	**136**	**6. 費用対効果が不明なため**	**37**	**42%**
4	**100**	**5. ICTやデジタル技術の使い方を覚えるのが面倒であるため**	**29**	**33%**
5	**96**	**2. ICT活用工事の導入経費（取り組む費用）が確保できないため**	**29**	**33%**
6	87	7．従来のやり方が一番早いと思っているため	55	62%
7	78	4．デジタル技術やシステム等のサポートをどこにお願いすれば（選べば）良いか分か	64	72%
8	48	9．その他（理由：	7	8%
9	29	8．会社の方針であるため	38	43%

【その他（自由意見）】
- 通信環境が悪い
- 着工前測量時は有効だが、出来形時有効な工事を施工していないため
- ICT修繕工したとしても、表層完了後は従来の管理をしないといけないため、従来どおりでいいと思った
- 構造物の構築が主な工種のため
- 使用方法を学習する時間が無い
- ICT活用対象工事でないため
- 工事規模が小さいため
- 船舶の更新や導入費用が超高額のため
- ICTやデジタル技術を必要としない現場であったため

問4　今後サポート等の支援があれば、ICT活用工事を実施したいと思いますか

選択肢	選択数
1．ぜひ実施したい	15
2．できれば実施したい	47
3．実施したくない	1
4．できれば実施したくない	15
5．わからない	10
未回答	1



【 技術者別　Bランク以下の集計 】　対象技術者数 ： 45人

問2　ICT活用工事を実施できなかった理由は何ですか（当てはまるものから：上位5位まで）

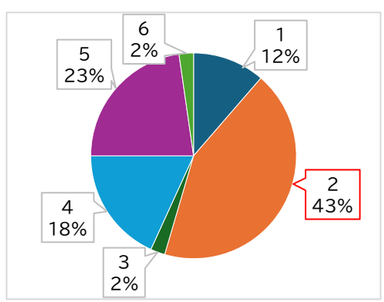
【ﾎﾟｲﾝﾄは、１位：５点、２位：４点、３位：３点、４位：２点、５位：１点で重み付けをして集計】

順位	ポイント	選　択　肢	選択数	選択率
1	**132**	**3. ICT活用工事を使える人材がいないため（スキル不足等）**	**33**	**75%**
2	**89**	**1. 受注した工事が、ICT活用工事を活用できない現場環境（作業）のため**	**23**	**52%**
3	**65**	**2. ICT活用工事の導入経費（取り組む費用）が確保できないため**	**20**	**45%**
3	**64**	**6. 費用対効果が不明なため**	**22**	**50%**
5	**53**	**5. ICTやデジタル技術の使い方を覚えるのが面倒であるため**	**21**	**48%**
6	43	7．従来のやり方が一番早いと思っているため	12	27%
7	37	4．デジタル技術やシステム等のサポートをどこにお願いすれば（選べば）良いか分か	13	30%
8	26	9．その他（理由：	7	16%
9	10	8．会社の方針であるため	4	9%

【その他（自由意見）】
- 当社は法面工事が主となるため、まだまだ活用できるICT技術が少ない
- 現場条件により使用可・不可が異なるため

問4　今後サポート等の支援があれば、ICT活用工事を実施したいと思いますか

選択肢	選択数
1．ぜひ実施したい	5
2．できれば実施したい	19
3．実施したくない	1
4．できれば実施したくない	8
5．わからない	10
未回答	1



地域別集計（工事単位）

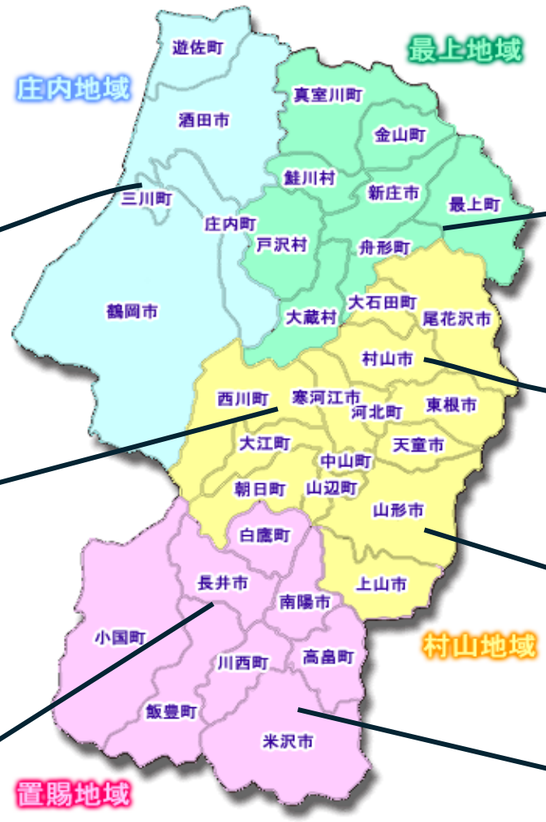
上段：Ｒ７
下段：Ｒ８

対象：
ICT活用工事
または
デジタル技術
活用工事

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
庄内	67%	14%
	66%	53%

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
村山（西）	38%	13%
	81%	50%

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
置賜（西）	25%	23%
	79%	50%



	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
最上	43%	9%
	55%	40%

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
村山（北）	45%	14%
	81%	50%

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
村山（本）	88%	10%
	78%	50%

	ICT活用工事等実施率	
	Aランク	Bランク以下
置賜（本）	48%	63%
	63%	40%

工事件数

実施数

	アンケートA（活用する）			アンケートB（活用しない）			合計		
	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計
村山地域	51	10	61	13	10	23	64	20	84
村山本	25	4	29	7	4	11	32	8	40
村山西	13	4	17	3	4	7	16	8	24
村山北	13	2	15	3	2	5	16	4	20
最上地域	34	10	44	28	15	43	62	25	87
置賜地域	28	6	34	13	8	21	41	14	55
置賜本	17	4	21	10	6	16	27	10	37
置賜西	11	2	13	3	2	5	14	4	18
庄内地域	38	8	46	20	7	27	58	15	73
計	151	34	185	74	40	114	225	74	299

割合

実施率

	アンケートA（活用する）			アンケートB（活用しない）		
	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計
村山地域	80%	50%	73%	20%	50%	27%
村山本	78%	50%	73%	22%	50%	28%
村山西	81%	50%	71%	19%	50%	29%
村山北	81%	50%	75%	19%	50%	25%
最上地域	55%	40%	51%	45%	60%	49%
置賜地域	68%	43%	62%	32%	57%	38%
置賜本	63%	40%	57%	37%	60%	43%
置賜西	79%	50%	72%	21%	50%	28%
庄内地域	66%	53%	63%	34%	47%	37%
計	67%	46%	62%	33%	54%	38%

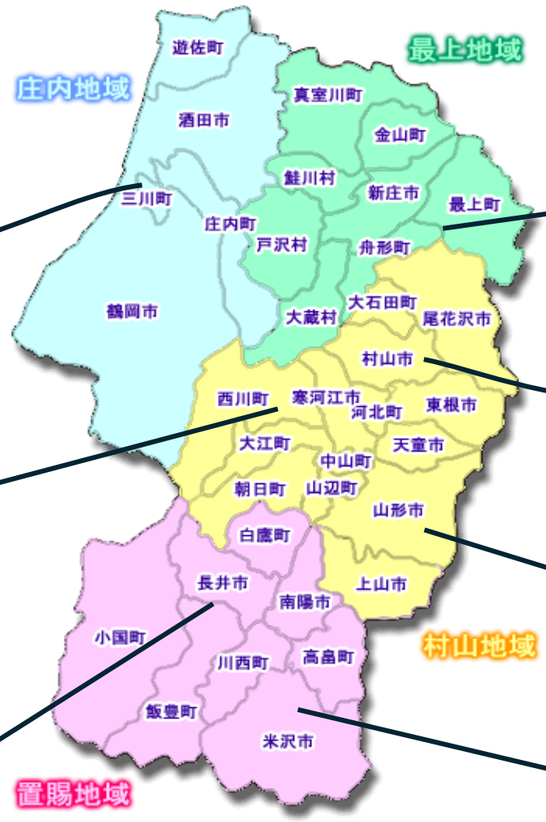
地域別集計（技術者単位）

対象：
ICT活用工事

	ICT活用工事経験率	
庄内	Aランク	Bランク以下
	50%	33%

	ICT活用工事経験率	
村山（西）	Aランク	Bランク以下
	69%	50%

	ICT活用工事経験率	
置賜（西）	Aランク	Bランク以下
	71%	25%



	ICT活用工事経験率	
最上	Aランク	Bランク以下
	55%	24%

	ICT活用工事経験率	
村山（北）	Aランク	Bランク以下
	38%	25%

	ICT活用工事経験率	
村山（本）	Aランク	Bランク以下
	66%	75%

	ICT活用工事経験率	
置賜（本）	Aランク	Bランク以下
	67%	60%

技術者の経験数

経験数

	アンケートC（実施したことがある）			アンケートD（実施したことがない）			合計		
	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計
村山地域	38	11	49	26	9	35	64	20	84
村山本	21	6	27	11	2	13	32	8	40
村山西	11	4	15	5	4	9	16	8	24
村山北	6	1	7	10	3	13	16	4	20
最上地域	34	6	40	28	19	47	62	25	87
置賜地域	28	7	35	13	7	20	41	14	55
置賜本	18	6	24	9	4	13	27	10	37
置賜西	10	1	11	4	3	7	14	4	18
庄内地域	29	5	34	29	10	39	58	15	73
計	129	29	158	96	45	141	225	74	299

割合

経験率

	アンケートC（実施したことがある）			アンケートD（実施したことがない）		
	Aランク	Bランク以下	計	Aランク	Bランク以下	計
村山地域	59%	55%	58%	41%	45%	42%
村山本	66%	75%	68%	34%	25%	33%
村山西	69%	50%	63%	31%	50%	38%
村山北	38%	25%	35%	63%	75%	65%
最上地域	55%	24%	46%	45%	76%	54%
置賜地域	68%	50%	64%	32%	50%	36%
置賜本	67%	60%	65%	33%	40%	35%
置賜西	71%	25%	61%	29%	75%	39%
庄内地域	50%	33%	47%	50%	67%	53%
計	57%	39%	53%	43%	61%	47%

まとめ

ICT活用工事等を実施する　⇒　アンケートA

【現状】
① ICT活用工事等の実施率は、Bランク以下でR7調査から飛躍的に上昇している。
（R7 Aランク:55%、Bランク以下:17% → R8 Aランク:67%、Bランク以下:46%）
② ICT活用工事等の実施した効果は、Aランク、Bランク以下ともに、「現場の省人化、効率化につながった」が、R7調査と変わらず最も多い。（選択率 Aランク:93%、Bランク以下:85%）
⇒ ICT活用工事等を実施すれば、生産性向上（省人化、効率化）が見込める。
③ 「導入経費に対する金銭的な支援」及び「活用できる技術者の確保などの人的支援」を、Aランク・Bランク以下どちらにおいても必要と考えている。

ICT活用工事等を実施しない　⇒　アンケートB

【現状】
①ICT技術を活用出来ない理由について、Aランクでは「技術を使える人材がいないため」（選択率:64%）がR7の3位から1位に上昇している。Bランク以下でも「技術を使える人材がいないため」（63%）がR7と変わらず最も多い。
②ICT活用工事を活用するために必要なことは、Aランクにおいては R7で圧倒的1位の「導入経費に対する金銭的な支援」（36%）が順位を下げ、「活用できる技術者の確保などの人的支援」（51%）が最上位になっている。Bランクではと変わらず「金銭的支援」（68%）、人的支援」（60%）と「精通した者からの助言等のサポート支援」（55%）が上位を占めた。

【分析・課題】
① ICT活用工事等の実施を通して、省人化や効率化による生産性向上を実感することで、AランクではICT活用が進んできていることと同様に、Bランク以下でもICT活用が進んできていると評価できるが、伸びしろはまだある状態。

② Aランク以上の企業では、ある程度の設備投資を行える体力があり、ICT技術を専門とする部署を設けている企業が地方ごとに複数社見受けられるが、Bランク以下でも取り組みを始めている企業が増えてきている。

③ 全体的にはICT活用にあたり、導入経費に対する金銭的支援に加え、人的支援の要素も大きくなっているため、金銭だけでなく、活用できる人材確保と助言等のサポート支援も必要。

ICT活用工事等のさらなる活用に向けて・・・

活用しないとした工事において、活用する（改善、課題解決する）ためには、
「導入経費（取組む費用）に対する金銭的な支援」を求める声も引続きあるものの、
「活用できる技術者の確保などの人的支援」、「精通した者（支援隊等）からの助言等のサポート支援」を求める声が、昨年度に比べて増えている。

サポート支援を行う「やまがたICT支援隊」

▼支援隊員登録企業数　R8.9.30時点

地域別	全県	村山	最上	置賜	庄内
企業数	20	9	3	2	6

▼支援隊の活用件数　R8.9.30時点

支援内容	全県	村山	最上	置賜	庄内
技術指導・助言	63	42	3	6	12
普及・支援活動	4	3			1
講習会・研修・セミナー	23	21		1	1
合計	90	66	3	7	14

⇒ 特定の企業に実績が集中しており、聞き取りによると、特に施工用の「3次元設計データ作成」でその傾向が顕著となっている。

○8月27日に**ICT支援隊向けの勉強会**を実施
内容:施工用3次元設計データ作成
講師:県外の内製化している施工業者
（寄せられた声）
・実際に施工業者が必要とするデータがどういうものか分かった。
・本格的に取り組むとなると社内に専門部署を設けないと難しい。
・施工業者の都合に合わせて作成できるのか分からない。

（チャレンジモデル工事の継続実施とともに）

令和9年度の取組みを検討